



日本高周波鋼業株式会社

富山県射水市八幡町
高級特殊鋼および超合金の製造販売
各種高級特殊鋼および超合金の
線・棒・鍛造品・加工品、冷間圧造品
<http://www.koshuha.co.jp/>



1 研究協力会を知ったきっかけ

大学とのパイプ役として産学連携を推進されている地域連携センターと研究協力会については設立当初にご案内を頂いており、存じ上げておりました。

2 共同研究の応募動機

当社は金型や電子部品用の工具鋼、特殊合金、軸受鋼の鍛造品やワイヤー素材を製造しております。

技術革新が急速に進む今日、自社でできるようになりたい加工技術がありました。ご指導を頂いている先生の研究はちょうどそのテーマにマッチした内容であり、関連業界の発展に貢献していきたいと考えて取り組みました。

3 共同研究を行うことでの期待

今後の商品開発には幅広い分野での技術の蓄積が必要になってきます。

当社の技術は限られており、また自社での独自開発には限界があります。大学のご指導を受けることにより当社が持っていない技術を取り入れて商品開発の速度を上げていきたいと考えています。また、交流の成果として優秀な人材が当社に戻ってくれるような雰囲気ができることも期待しております。

4 今後の進め方

今取り組んでいる共同研究のテーマは当社の将来計画における最重要課題です。他社に先駆けて市場に提供するためにも、短期間での開発が迫られますが大きな成果を期待しております。

この共同研究の実施の中でご指導頂いている先生のお力で、他の先生や他企業の技術者との良い交流関係ができました。大学とともにこの結びつきをさらに深めていきたいと考えています。



＜共同研究者＞
教授 春山 講師 中川

企業との共同研究は、地域産業の発展のために今後も推進していきたいと考えております。

しかし、企業

のニーズに大学の研究が100%対応できるわけではありません。私たちから歩み寄り、少しでも多く企業のニーズに応えていくことはもちろんですが、企業側も大学の学術的な研究に少し協力して頂くことで、双方の関係はより深いものになると考えています。

企業の利益と大学の研究成果の両方を得ることが、今後の産学連携のポイントであると考えています。

TOA 東亜薬品株式会社

富山市三郷
医薬品の研究開発・製造販売
<http://www.toayakuhin.co.jp/>



私たちは製造品目の絞込みと、製品の差別化に全力を注いでいます。より一層独創的な製剤技術を磨き、東亜薬品ならではの製剤を世の中に提供していきたいと考えています。

そのため当工場ではさまざまな形状(内服固形剤、内服薬剤、外用薬剤、軟膏剤、点眼剤など)の製造が可能なラインを完備し、当社ならではの製剤技術を生かし、多品種少量、短納期の受注にも対応しています。

また研究開発部門では、服用しやすい製剤にするための研究開発、速溶解性や微粉化技術を利用した製剤の開発、無菌環境で製造する液剤や軟膏剤の研究開発、その他新しい吸収部位を標的としたDPI製剤の研究、さらに、生まれた製剤の安全性や有効性、吸収排出の評価を行っています。

平成17年には医薬品開発研究所を竣工し、こうした特殊な製剤技術に特化した薬をより高度なレベルで提供できるよう、最先端の設備と機器を導入、今後予想されるさまざまな医薬品の研究開発に対応できるよう体制を整えています。

今回は会員企業6社様の紹介を行いました、今後も順に紹介を行ってまいります。

『流れの可視化』研究会

(内部空間対流の可視化)

設立主旨

室内や機器の内部の空気や水の流れの挙動を把握することは、製品の質向上・新製品開発に不可欠ではないでしょうか？その場合「百聞は一見にしかず」のごとく、流れの可視化を通じて社会に貢献する方法を話し合います。

17年度の活動内容

17年9月に研究会発足。以後、3回開催し継続中です。まずは会員間の相互理解から始めることを主眼においた活動を進めています。「流れの可視化」という基本から話し合いを始め、室内気流からチューブ内の流れまで、様々な流体現象の可視化計測技術、シミュレーション技術などについて勉強会を進めています。

具体的には、

- ・東大名誉教授小林敏雄先生の講義、県立大学研究室「流体研究室」紹介や研究シーズの紹介、懇話会からの話題提供
- ・アンケートによる「可視化」の問題、相談意見交換
- ・会員相互の可視化問題についての情報交換会



＜研究会 説明 状況＞

18年度の活動目標

1. 室内を模擬した透明流体モデルを作成し、人口と出口との位置関係を変えて、流れの挙動を可視化させる実験と数値解析実験により定量的に、室内の流れや挙動を把握し、数値解析の効果的な利用法を検討する。
内部の流れの具体的な実証確認ができることで、問題解決糸口につながることを期待したい。
2. 外部講師を招いた勉強会を実施する。
3. 富山県立大学の研究シーズの紹介と会員間の相互理解を深める。



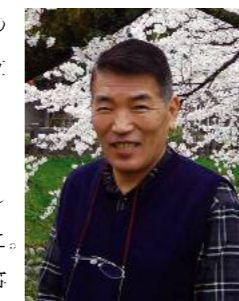
＜県立大学研究室 紹介状況＞

世話役教員の声

昨年スタートした研究会です。会員相互の蒞臨と理解から始めることに主眼をおいて運営しています。2年目からは、室内モデルを実際に製作しシミュレーションと定量的な可視化実験によって、流れ挙動を解明する予定です。途中からの参加も可能です。参加をお待ちしております。

参加メンバーの声

熱管理に関係する業種で一番に難解なのが空気の流れの表現の方法です。富山県立大学のホームページで「流れの可視化」のテーマ会員登録があり急ぎ人会しました。設立主旨に賛同し人会しましたが、はたして私の思いと同じなのか不安がありました。参加を続ける中で理解も深まり、今は仕事に利用できないかと考えています。



NACOシステム
野垣社長

今後、参加者の具体的な要望を研究テーマの中に取り上げて頂き、例題として進めて頂ければ、より議論が活発化すると思います。



＜石塚教授＞



＜中川講師＞